

動物用医薬品

要指示医薬品

注射用血清性腺刺激ホルモン
動物用 **セトロピン**[®]SEROTROPIN[®]貯 法：遮光して、冷所に保存してください。
使用期限：包装に表示の使用期限内に使用してください。

※ 承認番号 16 消安第 10775 号

本剤は血清性腺刺激ホルモンの注射用凍結乾燥製剤であり、用時、添付の溶解液により溶解して用います。血清性腺刺激ホルモンはウマ血清由来の糖蛋白質であり、雌性動物に対しては主に卵胞刺激ホルモン（FSH）様作用を持ち、黄体形成ホルモン（LH）様作用は弱く、雄性動物に対しては精細管上皮細胞を刺激し、精子の形成を促します。

【組成・性状】

販 売 名	動物用セトロピン
成分・含量	1 アンプル中血清性腺刺激ホルモン1000単位
添 加 物	1 アンプル中乳糖6mg, pH調整剤
剤形・性状	アンプル（白色の粉末又は塊の凍結乾燥製剤）
pH	本品0.03gを生理食塩液2.0 mLに溶かした液のpHは5.0～7.0
添付溶解液	1 アンプルに対し0.6%塩化ナトリウム溶液5 mL 1 アンプル

【効能・効果】

牛（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全，卵巣静止，卵巣萎縮），多排卵誘起
馬（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全，卵巣静止，卵巣萎縮）
めん羊（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全，卵巣静止，卵巣萎縮），多排卵誘起
豚（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全，卵巣静止，卵巣萎縮），分娩後の発情誘起，多排卵誘起
犬（雌）：卵胞発育障害（卵巣発育不全，卵巣静止，卵巣萎縮），無発情期における発情誘起
牛（雄）：精巣機能減退（精子減少症，軽度の精子死滅症）
馬（雄）：精巣機能減退（精子減少症，軽度の精子死滅症）
豚（雄）：精巣機能減退（精子減少症，軽度の精子死滅症）
犬（雄）：精巣下降不全

【用法・用量】

添付の溶解液に溶解し、通常1日1回1頭当たり血清性腺刺激ホルモンとして下記の量を筋肉内又は皮下に注射し、必要に応じて反復投与します。

牛：500～2,000単位
（多排卵誘起の場合2,000～4,000単位）
馬：500～2,000単位
めん羊：500～1,000単位
（多排卵誘起の場合1,000～2,000単位）
豚：400～1,000単位
（多排卵誘起の場合1,000～2,000単位）
犬：50～200単位

【使用上の注意】

1. 一般的注意
 - (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師の処方せん・指示により使用してください。
 - (2) 本剤は定められた用法・用量を厳守してください。
 - (3) 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療のみ使用してください。
2. 使用者に対する注意

誤って人に注射した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
3. 対象動物に対する注意
 - (1) 制限事項

本剤の投与前には健康状態について検査し、異常を認めた場合は投与しないでください。
 - (2) 副作用
 - 1) 本剤の投与により、過排卵を起こし、多胎妊娠することがあります。
 - 2) 本剤の投与により、過敏性反応を起こすことがあります。
 - 3) 本剤の反復投与により、抗ホルモン抗体が産生され効果を減ずることがあります。
 - (3) 適用上の注意

本剤は、溶解液に混和後直ちに振盪溶解し、速やかに使用してください。
4. 取扱い上の注意

使用済みの空容器等は適切に処分してください。
5. 保管上の注意
 - (1) 小児の手の届かないところに保管してください。
 - (2) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けてください。

【薬理作用】

1. FSH作用を示し、LH（あるいはICSH）作用を併有します¹⁻³⁾。
2. 雌性動物に対し、卵胞の成熟を促し、排卵を誘発します（ラット・マウス¹⁾。
3. 雄性動物に対し、睾丸の発育、特に精細管上皮細胞の増殖を促します（ラット⁴⁾・マウス⁵⁾。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：血清性腺刺激ホルモン
Serum Gonadotrophin [JAN]

性 状：白色の粉末で、水に溶けやすい。

【包 装】

動物用セトロピン：1000単位×10（アンプル）
[0.6%塩化ナトリウム溶液5 mL×10（アンプル）添付]

【主要文献】

- 1) Evans, H.M. et al. : The Hormone, **2** : 386, 1955
- 2) Lunenfeld, B. et al. : Vitamins & Hormones, **27** : 169, 1969
- 3) Hamburger, C. et al. : Acta Endocrinol., suppl., **31** : 59, 1957
- 4) 松島早苗 : 薬学雑誌, **79** : 1536, 1959
- 5) 茅原礼七 : お茶の水医学雑誌, **7** : 1832, 1959

※【文献請求先】

あすか製薬株式会社 アニマルヘルス部
〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号

※ 製造販売元

あすか製薬株式会社
東京都港区芝浦二丁目5番1号